

獣医師の概要資料



宮城県観光PRキャラクター
「むすび丸」



宮城県

Miyagi Prefectural Government

宮城県のプロフィール

宮城県は、東京から300km北東、東北地方の中心に位置します。

県庁所在地は仙台市。

東は太平洋に面し、西には蔵王・船形・栗駒などの山々が連なり四季折々の姿を見せ、中央部には有数の穀倉地である仙台平野が広がります。

総面積 7,282km²

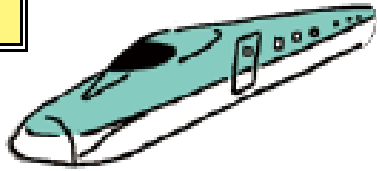
人口 228万人(R4.4現在)

市町村数 35(14市20町1村)



出典:宮城県総務部

	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	年間降水量 (mm)	平均湿度 (%)
仙台	13.7	35.5	-4.7	1247	74
東京	16.5	37.3	-2.1	1590	71



東京↔仙台 最速1.5時間

東北新幹線の利用で東京～仙台間は最速で約1時間30分。仙台空港アクセス線により仙台空港～都心部までは最速17分。高速バスも便数が豊富で、県内外問わず、アクセス面も優れています。

車で約1時間

山形

車で約2時間

盛岡

新幹線で約1.5時間

車の移動が便利!

仙台市中心部から

約1時間～2時間

程度で隣県にも!

仙台市街から山や海は車で1時間圏内の好アクセス! 県内には東北道や山形自動車道が走っており、1時間程度で山形・岩手・福島にも行くことができます。三陸自動車道も延長しており、県内の移動環境も益々便利になってきています。仕事にもレジャーにもアクティブな時間の使い方ができます。



◦住む

住宅を購入する場合の
平均価格は

東京の10分の1

住宅を購入する場合の平均価格は、平成26年度宮城県経済白書によると3万1900円/㎡で全国で24番目。全国平均が6万7200円ですから、比較的住宅を購入しやすい地域と言えます。ちなみに全国1位は東京都で30万9700円/㎡、宮城県なら東京の10分の1の価格で買えるということになります。

賃貸物件なら

東京の約半分の

家賃感覚で借りられます!

賃貸住宅の相場では、例えば仙台駅まで地下鉄で約15分という立地の泉中央駅周辺では、1LDKが約7万円前後、2LDKが約8万円前後のようです。東京の渋谷から電車で約20分の二子玉川駅周辺と比較してみると、1LDKが約12万円前後、2LDKが約16万円前後ですから、その半額で借りられそうです。

◦生活

百貨店、総合スーパー数

1.76店

(人口10万人当たり)

全国7位

コンビニエンスストア数

33.3店

(人口10万人当たり)

全国3位

仙台市中心部の最新商業施設はもちろん、映画館を併設した郊外型の大型ショッピングモール、スーパー、コンビニなど多彩なショッピングが楽しめます。

(総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2018」より)

◦ 食べる



宮城県は豊かな自然に囲まれ
海・山・大地の育む多彩で
豊富な食材に恵まれています！

米の生産量は **371,400** トン (平成30年度)

全国 **5** 位 を誇る作付面積 **74,700** ha (平成29年度)



世界三大漁場のひとつ「金華山・三陸沖合」がある！
県内9つの漁港が誇る漁獲量

サメ類漁獲量 **16,686** トン 全国 **1** 位

サンマ漁獲量 **14,562** トン 全国 **2** 位

マグロ類漁獲量 **19,258** トン 全国 **2** 位

(平成28年度) (農林水産省 海面漁業生産統計調査より)

県職員 of 獣医師の仕事



宮城県組織で獣医師が勤務する公所

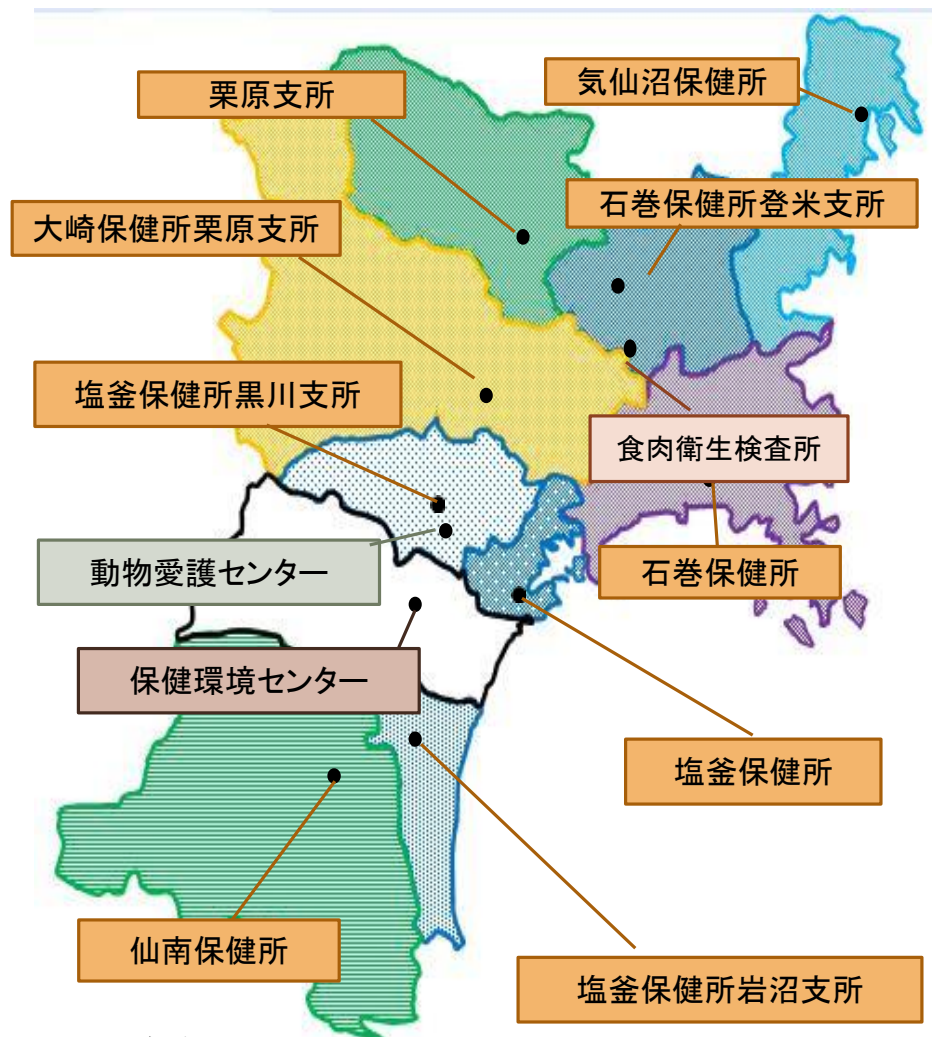
県組織(知事部局)(職員数 約5,000人)

- 総務部
 - 震災復興・危機管理部
 - 企画部
 - 環境生活部
 - 保健福祉部
 - 経済商工観光部
 - 農政部
 - 水産林政部
 - 土木部
 - 出納局
- 獣医師の勤務する公所
- 環境生活部・保健福祉部 (74人うち女性30人)
 - ① 食と暮らしの安全推進課
 - ② 保健環境センター
 - ③ 食肉衛生検査所
 - ④ 動物愛護センター
 - ⑤ 保健福祉事務所(保健所(支所))
 - 農政部(44人うち女性18人)
 - ① 畜産課
 - ② 家畜防疫対策室
 - ③ 家畜保健衛生所
 - ④ 畜産試験場
 - ⑤ 地方振興事務所畜産振興部等

宮城県内の地方公所



家畜保健所(畜産振興部): 6カ所
 畜産試験場: 1カ所



保健所(支所): 9カ所
 保健環境センター: 1カ所
 食肉衛生検査所: 1カ所
 動物愛護センター: 1カ所

環境生活部(保健福祉部)での仕事

1 各地域の保健所(支所)

- 食品衛生
食品衛生法に基づく営業許可，監視指導
食中毒に関する調査，スーパー等での食品収去
HACCPに関する助言・指導
- 獣疫衛生
動物の愛護及び適正な飼養に係る知識の普及
飼い主不明の犬や猫の収容管理，譲渡
捕獲犬の抑留，返還
- 環境衛生
営業六法（理容師法・美容師法・旅館業法
クリーニング業法・公衆浴場業法・興行場法）
に基づく許可，監視指導



衛生指導



監視指導

2 保健環境センター

- ノロウイルスやサルモネラ等の病原体による食中毒や感染症の原因究明
- 食品衛生・環境衛生に関する試験検査及び調査研究
- 結核・感染症発生動向調査



各種試験検査

3 動物愛護センター

- 動物の愛護及び適正な飼養に係る知識の普及啓発
- 犬、猫の収容管理，譲渡及び処分
- 負傷動物の治療
- 捕獲犬の抑留，飼い主への返還
- 動物の病性鑑定（狂犬病等）
- 動物由来共通感染症に関する調査研究



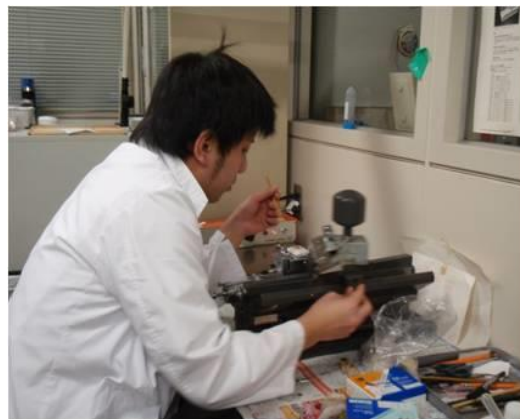
ふれあい教室

4 食肉衛生検査所

- 食用に供する獣畜，食鳥の疾病排除
- 食肉に関する精密検査（微生物検査，病理検査，理化学検査）
及び抗菌性物質などの残留検査
- 動物由来感染症に関する調査研究
- と畜場及び食鳥処理場における解体処理，衛生管理などに関する指導



解体後（枝肉）検査



精密検査（病理）検査



TSE（BSE）検査

農政部での仕事

1 家畜保健衛生所

□防疫班

- 家畜衛生に関する業務

 - 定期的な検査，農場における病性鑑定，放牧衛生

- 動物薬事

 - 動物用医薬品の販売に関する許認可等

- 獣医事

 - 獣医師法・獣医療法に基づく確認等

□指導班

- 家畜の改良増殖に関すること

 - 人工授精師，家畜商，共進会

- 草地開発，飼料の安全性確保

- 家畜排泄物

- 畜産関係の補助事業

□病性鑑定班（県内に1カ所 仙台家畜保健衛生所のみ）

- 家畜疾病の病性鑑定

- 若手職員へ技術研修会の開催

- 家畜伝染病の予防技術および検査技術の調査研究



血液採材



細菌検査

2 畜産試験場

- 肉牛の試験研究, 肉用牛の集団育種
- 乳牛の試験研究, 能力検定・飼養管理
- 受精卵移植技術, 繁殖技術の試験研究
- 豚の育種・試験研究・系統豚の維持・生産



仙台牛



基幹種雄牛：茂洋



系統豚：しもふりレッド

待遇・労働条件

●給料月額（家保218,000円）

●手当の種類

①初任給調整手当

大学卒業～15年以内（1年毎に減額）

初年度35,300円/月

②扶養手当（配偶者6,500円,
子10,000円等）

③地域手当（1.5～4.5%）

④通勤手当(上限65,000円)

⑤期末・勤勉手当（約4.45月分）

⑥住居手当(上限27,000円)

⑦時間外勤務手当

⑧退職手当等

●給料の調整額支給（家保13,300円/月～）

●有給休暇（20日）

●特別休暇

①ボランティア休暇（5日）

②結婚休暇（7日）

③つわり休暇（10日）

④妊婦検診休暇

⑤出産休暇（16週）

⑥男子育児参加休暇（5日）

⑦リフレッシュ休暇（3日）

⑧夏季休暇（5日）等

●病気休暇

●育児休業（子が3歳まで）

福利厚生・研修制度

福利厚生

● 宿舎

- ① 世帯用職員住宅
- ② 独身・単身用職員寮

● 健康管理・レクリエーション

- ① 定期健康診断・がん検診
- ② 宿泊施設・レクリエーション
施設利用への助成

● 共済制度

- ① 出産等への給付
- ② 年金
- ③ 住宅・結婚等への貸付

● 施設（県庁）

診療所・食堂・保育園・カフェラウンジ

研修制度

（公務研修所での研修）

● 階層別研修

- ① 新任研修
- ② フォローアップ研修
- ③ 主任主査研修等

● 選択制研修

- ① 政策法務研修
- ② プレゼンテーション講座
- ③ ファシリテーション講座
- ④ クレーム対応力講座等

インターンシップ

●期間

2～5日程度（随時受付）

●問合せ先

①環境生活部環境生活総務課総務班 TEL 022-211-2522

②農政部農政総務課管理班 TEL 022-211-2885

●インターンシップの内容

下記の各施設での座学又は実習

①県庁（食と暮らしの安全推進課，畜産課，家畜防疫対策室）

②動物愛護センター

③保健環境センター

④食肉衛生検査所

⑤畜産試験場

⑥家畜保健衛生所等

※受入先の業務の関係等，日程や場所などを調整する場合があります

宮城県獣医師修学資金貸与者募集

- 1 貸与対象者
獣医学を履修する課程に在学する5年生で卒業後宮城県（家畜保健衛生所）に獣医師として勤務しようとする方
- 2 募集人員
令和4年度分1名以内（5年生のみ対象）
- 3 貸与額
国公立大学生 10万円/月，私立大学生 18万円/月
- 4 提出書類
①申請書 ②学長の推薦書 ③健康診断書 ④戸籍謄本 ⑤学業成績証明書
⑥保護者等の収入を証明する書類
- 5 提出期間
令和4年4月1日（金）から7月22日（金）まで（当日消印有効）
- 6 選考方法
書類審査，小論文及び面接により貸与者を決定し通知します。
- 7 返還免除
県職員採用試験に合格し，大学卒業後直ちに獣医師資格を取得，宮城県職員（家畜保健衛生所勤務）として，貸与額によって一定期間以上勤務した場合は，就学資金全額の返還が免除されます。
10万円/月：貸与期間の2分の3以上，18万円/月：貸与期間の3分の5以上
- 8 返還措置
貸与資金は規程に基づき，返還措置が発生する場合があります。

【修学資金に関する問い合わせ先・申請書類提出先】

一般社団法人 宮城県畜産協会 総務課 TEL 022-298-8471

【採用・勤務条件等に関する問い合わせ先】

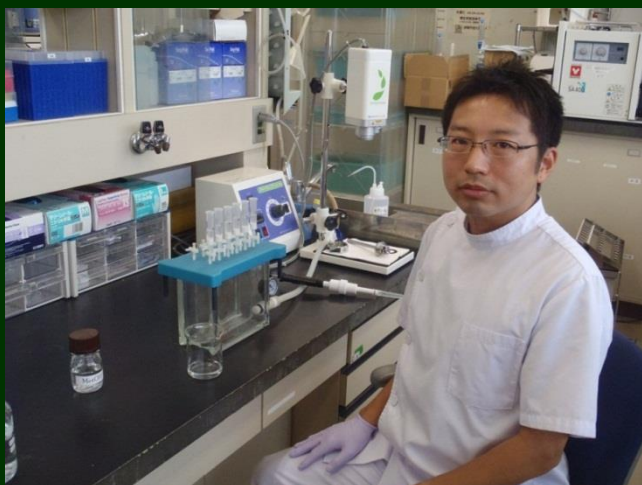
宮城県農政部 家畜防疫対策室 衛生安全班 TEL 022-211-2854

獣医師採用情報



- 平成29年度から教養考査を廃止しました。
- 特別な公務員試験対策をすることなく受考できます。
- 教養考査の廃止により、2段階選抜から1段階選抜になり、考査日程が短縮されています。

～ 先輩獣医師の声 ～ 「宮城県職員として活躍しませんか!？」



食肉衛生検査所精密検査班
技術主査 阿部洋平（岩手大卒）

私は、食肉中の残留抗菌性物質の検査も担当しており、入庁12年目を迎えますが、多様な分野の業務を経験できることに県職員としての大きなメリットを感じています。これまで保健所や家畜保健衛生所に勤務し、環境衛生や家畜防疫業務に携わってきましたが、人脈や視野が広がっていくのを実感しています。色々なことをやってみたい方、ぜひ宮城県職員として一緒に頑張ってみませんか



～ 先輩獣医師の声 ～



畜産試験場種豚家さん部
技師 佐久間 晶子（麻布大卒）

私は現在、ここ畜産試験場に所属する獣医師として、県系統豚の維持・増殖や、大学や他研究所との共同研究を行っています。昨年度より私は、東北大学大学院博士課程後期に社会人特別選抜枠で入学が認められ、研究というクリエイティブな仕事を通じ、努力次第で、自分の可能性をどこまでも広げることができる機会を得ました。畜産業のさらなる発展のために、新しいことを創造し、挑戦していくことが、畜産試験場に所属する獣医師の大きな使命として考え、私たちは日々、仕事に邁進しています。



～ 先輩獣医師の声 ～



動物愛護センター愛護班
技師 後藤沙弥香（北里大卒）

私は県外出身ですが、宮城に来て県民の皆さんのあたたかな人柄に触れ、県民の役に立ちたいと考え県職員になりました。

現在所属する動物愛護センターではポニーやヤギ、うさぎ、モルモット、鳥類、犬、猫を飼養していて、動物達から色々なことを教わりながら獣医師として非常に勉強になる職場です。

子供達に動物達とのふれあい方や習性を教える動物ふれあい教室では、動物を怖がっていた子供が触れるようになる姿を見られたり、「動物と仲良くなれた」「可愛かった」という声を聞くことができます。動物が好きで獣医師を目指した私と同じ動物好きになるきっかけになってもらったのではないかと嬉しくなります。

まだまだ未熟な私ですが、県職員には多くの先輩、同期、後輩がおり、また他職種の職員と一緒に業務を遂行することもあるとあって、相談に乗ってもらったり励みになったりと様々に刺激を受けるのも県職員の良いところだと思います。



～ 先輩獣医師の声 ～



畜産課衛生安全班
技術主査 高野泰司（北里大卒）

子供の頃から「畜産」が身近な環境にあり、地元の宮城県で畜産に貢献できる職に就きたいという思いで入庁しました。

平成17年4月の入庁以来、家畜保健衛生所（家保）で農場での検査等の防疫業務や病性鑑定業務に従事してきました。

現在所属する畜産課衛生安全班は、家畜衛生に関する行政事務全般を担当しています。その中で、私は、安全・安心な畜産物生産を支援するための家畜衛生対策事業を担当しています。具体的には、家畜衛生分野の農場支援施策を国と協議し、事業計画を県内の各家保や関係機関と調整し実施します。また、予算案の作成も行い、検査に必要な器具・機材の整備等を行っています。畜産課では、幅広く、かつ、先をみずえた視点で業務を進める必要があり、難しい面もありますが、その分やりがいや達成感も大きく、充実した毎日を送っています。

～ 先輩獣医師の声 ～



仙台家畜保健衛生所 病性鑑定班
技師 松尾 賢吾

ウイルス検査の重要性を実感。
獣医師として県の畜産振興に貢献。

病性鑑定班でウイルス担当をしています。家畜に病気が発生した際に、精密検査を実施し、原因究明と診断を行っています。検査の依頼が来るのは畜産農家が困っているときですので、できるだけ早く農家の不安や損失を解消できるように心がけています。高病原性鳥インフルエンザが発生した時には農場の再開まで一連の検査を担当し、自分の業務の責任の重さを実感しつつ自信にもつながりました。担当分野の専門性を高めていくと同時に、様々な業務を体験できるのも県職員ならではの醍醐味だと思います。



君の能力を
宮城県で発揮
してみませんか!

仙台牛PRキャラクター
「牛政宗くん」